

「阪南 2 区人工干潟から始める SDGs 活動」干潟観察会の概要

- 日 時 令和 4 年 5 月 29 日 (日) 10:30~15:00
- 場 所 阪南 2 区人工干潟 (岸和田市)
- 主 催 CIFER・コア、共和海建グループ、きしわだ自然資料館
- 参加者数 76 名 うち きしわだ自然資料館 36 名 (うち高校生 2 名・子供 13 名)、共和海建グループ 25 名、CIFER・コア関係者 15 名
- 行 程
- 10:30 地藏浜みなとマルシェ集合、主催者三団体各代表挨拶
- 10:40 出航 使用船舶「ケイエース(定員 70 人)」及び「あすか(定員 51 人)」
- 10:55 阪南 2 区棧橋に着岸
- 11:00 ①CIFER・コアから干潟造成経緯と SDGs 推進体制の説明
②きしわだ自然資料館から指導員の紹介
- ・児嶋 格氏 (きしわだ自然資料館専門員 貝類)
 - ・柏尾 翔氏 (きしわだ自然資料館学芸員 海域生物)
 - ・大古場 正氏 (大阪市立自然史博物館外来研究員 貝類)
 - ・山田 浩二氏 (貝塚市立自然遊学館研究員 甲殻類)
- 干潟の代表的な生物 (オコゼ、アカクラゲ、エイ等) の説明
観察時の注意事項 (明示した立ち入り禁止区域等) の連絡
- 11:10 干潟観察開始
- ③共和海建グループによる SDGs 活動の社員説明、護岸清掃
- 12:40 干潟観察終了 帰港
堺泉北埠頭(株)提供のボールペン・野帳セットの配布
- 13:00 地藏浜みなとマルシェにおいて、昼食 (BBQ ほか)
- 14:00 鯛巾着網漁業協同組合競り場において、採取生き物の観察と指導員による説明
- 15:00 終了 解散

昨年の秋以来、半年をかけて企画・調整を行ってきた「阪南 2 区人工干潟から始める SDGs 活動」については 5 月 4 日(祝日)にトライアルを開催したのち、第 1 回となる干潟観察会を 5 月 29 日(日)に開催しました。CIFER・コアが企画・調整し、共和海建グループが船舶航行、施設整備等を担当、きしわだ自然資料館が現地における生き物の観察指導を行うという三位一体の取り組みとなりました。SDGs への貢献が叫ばれる現在、共和海建グループでは社員教育や CSR の一環としての活動でもあります。

当日は熱中症が心配される気温になりましたが、適当に風があり観察会にはほどよい天気になりました。集合は岸和田市地藏浜みなとマルシェの棧橋前で、ここから 2 隻の小型客船に分乗して沖合の干潟に向かい、約 10 分で修理をした上陸用棧橋に到着しました。干潟までは、捨石護岸の上に敷かれたゴムマットの上を歩くこととなります。少し凸凹はありますが、足腰には優しくできています。

干潟ではすでに葦が青い葉を伸ばしており、その間に盛りを過ぎたハマヒルガオの花がちらほら咲いていました。干潮の時間帯を選んだので干潟が広く姿を現しています。

CIFER・コアから干潟造成の由来などを説明した後、自然資料館の柏尾学芸員から生き物観察時の注

意事項が伝えられ、いよいよ観察会の開始です。待ち切れないようにうずうずしていた子供たちも親と一緒に小走りに干潟に入り、スコップやバケツを手に砂を掘ったり水たまりの生き物を網ですくったりしていました。首まで海水の中に浸ってはしゃぐ子供もいました。ところどころにあるマテガイの穴に食塩を入れるとマテガイが顔を出しました。楽しい時間でしたが1時間はあっという間に過ぎました。

一方、共和海建グループの参加者は護岸上のゴミ拾いを行いました。自然資料館からは干潟の中のゴミは昆虫や磯浜生物の住み家にもなるので回収しないでとのことでした。生き物はデリケートです。

帰りは時間をずらして3回に別れて地蔵浜みなとマルシェに戻り、昼食タイムです。当日は地蔵浜みなとマルシェが休業日でしたが、特別に共和海建グループが準備したマルシェのBBQエリアで昼食を取りました。昼食が終わると採取した生き物の観察と説明会を行いました。会場は鯛巾着網漁業協同組合のセリ場を借りることができたので、屋根の下、子供たちも快適な環境の中で学習ができました。

また、このSDGs活動実施のために尽力していただいた共和海建グループの石田氏が周辺の海で獲ったマアナゴやタコ、アメフラシ、イシガニ、キジハタなどを水槽に入れて展示してくれました。子供たちはヌルヌルするマアナゴを触っては嬌声をあげるなど賑やかなうちに観察会が終わりました。この活動は国土交通省が事務局の「大阪湾の生き物一斉調査」とも連動しました。

<活動の様子>



▲みなとマルシェから出港



▲自然資料館からの生き物の説明



▲共和海建 G による護岸の清掃活動



▲干潟観察会の様子



▲採取した生物の観察と種の同定を行う
◀マテガイ(上)と石田氏の獲った魚など(下)